

NYマーケットレポート (2016年2月17日)

NY市場では、欧米の株価や原油価格の上昇を受けて、ドル円・クロス円は序盤から堅調な動きとなった。そして、米生産者物価指数が予想に反して改善したことや、米鉱工業生産が予想以上の伸びとなったことを受けて、ドルが主要通貨に対して上昇する動きとなった。また、イラン石油相が、サウジアラビアとロシアの合意した生産量の維持に支持を表明したことを受けて、供給過剰の解消に向けた動きが加速するとの期待感から原油価格が大きく上昇する動きとなったことも、投資家のリスク志向を強める要因となった。その後、FOMC議事録が公開され、改めて世界的な金融状況の混乱に対する懸念が高まったことが嫌気され、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。

2016/2/17 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	113.49	114.40	113.39
EUR/JPY	126.74	127.32	126.70
GBP/JPY	161.87	163.57	161.59
AUD/JPY	80.61	81.40	80.35
EUR/USD	1.1168	1.1179	1.1119

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	114.31	113.49
EUR/JPY	127.26	126.74
GBP/JPY	163.77	161.84
AUD/JPY	81.58	80.56
EUR/USD	1.1174	1.1124

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	15836.36	-218.07
ハンセン指数	18924.57	-197.51
上海総合	2867.34	+30.77
韓国総合指数	1883.94	-4.36
豪ASX200	4882.10	-27.94
インドSENSEX指数	23381.87	+189.90
シンガポールST指数	2613.79	-30.79

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6030.32	+168.15
仏CAC40	4233.47	+122.81
独DAX	9377.21	+242.10
ST欧州600	328.77	+8.40
西IBEX35指数	8364.90	+227.30
伊FTSE MIB指数	17377.89	+420.05
南ア全株指数	50039.31	+652.21

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	113.99	114.50	113.76
EUR/JPY	126.81	127.40	126.64
GBP/JPY	162.84	163.90	162.48
AUD/JPY	81.84	82.08	81.21
NZD/JPY	75.58	75.92	75.05
EUR/USD	1.1125	1.1158	1.1107
AUD/USD	0.7180	0.7187	0.7109

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16453.83	+257.42
S&P500	1926.82	+31.24
NASDAQ	4534.07	+98.11
日経225 (CME)	16050	+120
🇨🇦 トロント総合	12867.16	+312.18
🇧🇷 ボルサ指数	43585.23	+484.91
🇧🇷 ボベスバ指数	41630.82	+683.12

2/18 経済指標スケジュール

08:50	【日本】1月貿易収支
09:00	【ニュージーランド】2月ANZ消費者信頼感指数
09:30	【豪州】1月失業率
09:30	【豪州】1月雇用者数
09:30	【豪州】1月労働参加率
10:30	【中国】1月消費者物価指数
10:30	【中国】1月生産者物価指数
16:00	【スイス】1月貿易収支
16:45	【フランス】1月消費者物価指数
17:30	【スウェーデン】1月消費者物価指数
18:00	【欧州】12月経常収支
21:30	【欧州】欧州中銀 議事要旨公表[1月21日分]
22:30	【米国】2月フィラデルフィア連銀景況指数
22:30	【米国】新規失業保険申請件数
22:30	【米国】失業保険継続受給者数
22:30	【カナダ】12月卸売売上高
00:00	【米国】1月景気先行指標総合指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1211.40	+3.20
NY 原油	30.66	+1.62
CMEコーン	371.50	+3.75
CBOT 大豆	885.25	+2.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.74%	0.72%
3年債	0.93%	0.91%
5年債	1.26%	1.22%
7年債	1.57%	1.52%
10年債	1.81%	1.78%
30年債	2.68%	2.65%

2/18 主要会議・講演・その他予定

- ・サンフランシスコ連銀総裁 講演
- ・米30年TIPS債入札
- ・EU首脳会議 (～19日)

(出所:SBILM)

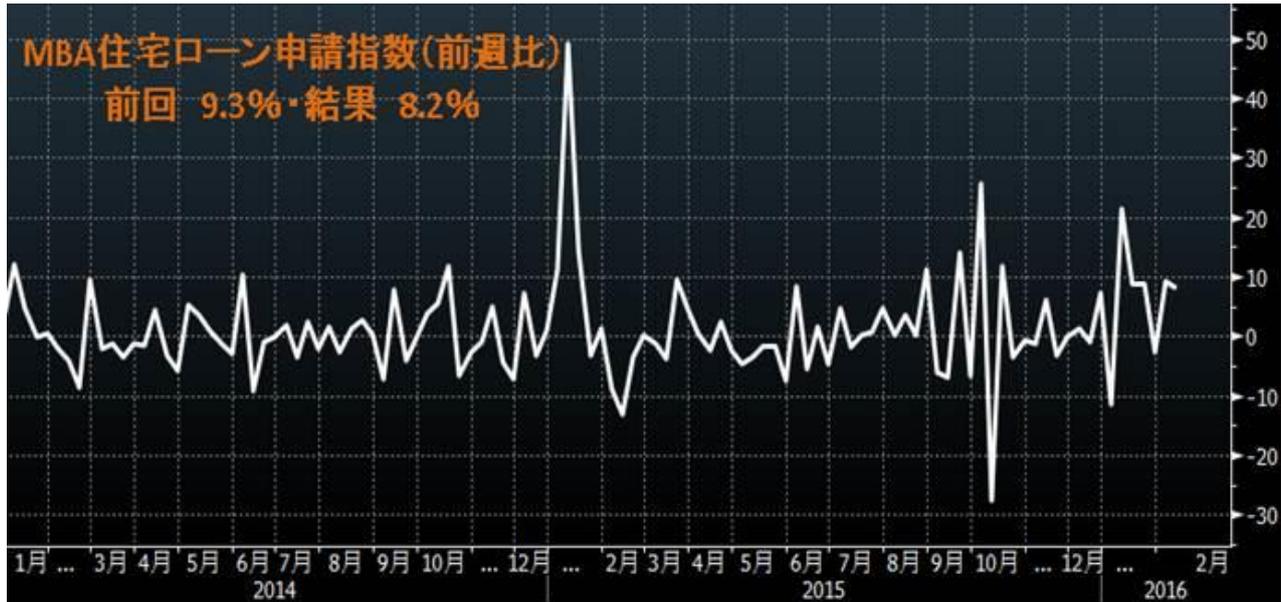
NY 市場レポート

欧州タイム

21:00

◀ 経済指標の結果 ▶

MBA 住宅ローン申請指数 (前週比) 8.2% (前回 9.3%)



(出所：ブルームバーグ)

指標結果データ

◀MBA 住宅ローン申請指数▶

	2/12	2/5	1/29	1/22	1/15	1/8	前年同期
申請指数	8.2	9.3	-2.6	8.8	9.0	21.3	25.1
購入	-3.7	0.2	-7.0	4.6	-1.6	17.8	31.1
借換え	16.0	15.8	0.3	11.3	18.7	23.8	22.1
固定金利	7.9	8.8	-1.6	7.8	8.0	20.7	23.2
変動金利	13.2	18.4	-15.7	24.8	27.5	32.1	60.4

(%)

ローン契約平均金利 (%)

固定金利 30年	3.83	3.91	3.97	4.02	4.06	4.12
固定金利 15年	3.11	3.18	3.22	3.28	3.29	3.42

22:00

ドル/円 114.19 ユーロ/円 127.27 ユーロ/ドル 1.1146

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	5958.33	+96.16	ダウ 先物ミニ	162046	+115
仏 CAC40	4198.61	+87.95	S&P 500 ミニ	1904.00	+15.25
独 DAX	9311.24	+176.13	NASDAQ 100 ミニ	4138.25	+45.50

(出所:SBILM)

22:00

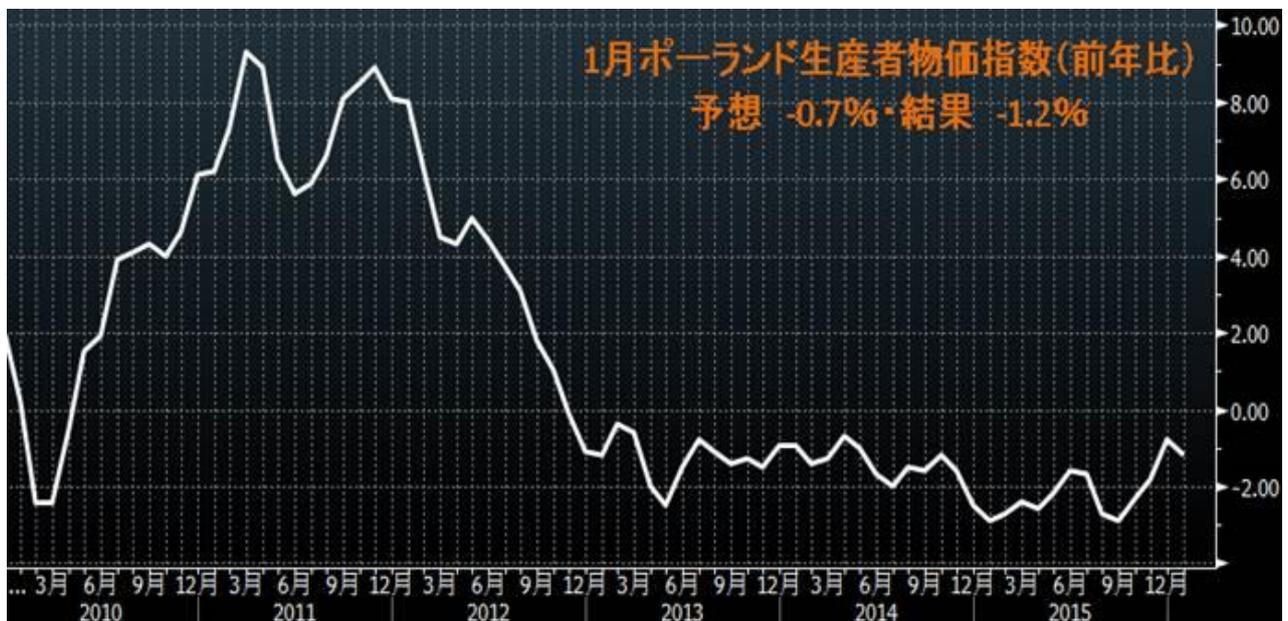
◀ 経済指標の結果 ▶

1月ポーランド生産者物価指数(前月比) -0.5%(予想 -0.1%・前回 -0.2%)

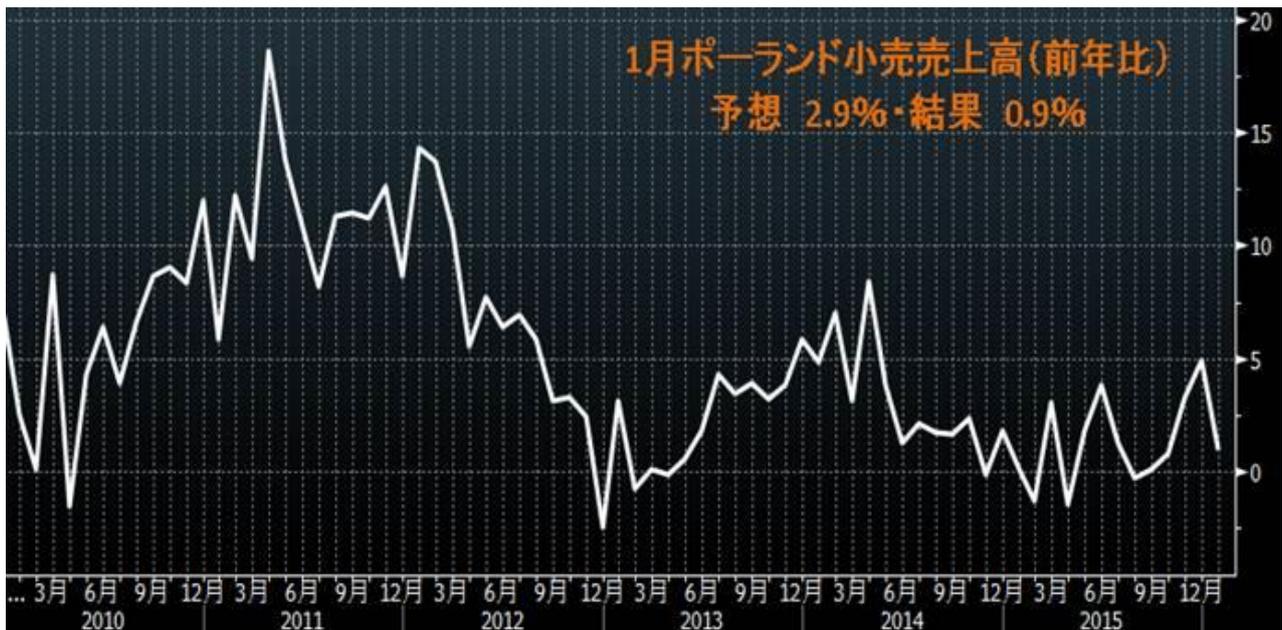
1月ポーランド生産者物価指数(前年比) -1.2%(予想 -0.7%・前回 -0.8%)

1月ポーランド小売売上高(前月比) -25.6%(予想 -23.9%・前回 21.5%)

1月ポーランド小売売上高(前年比) 0.9%(予想 2.9%・前回 4.9%)



(出所:ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

22 : 30

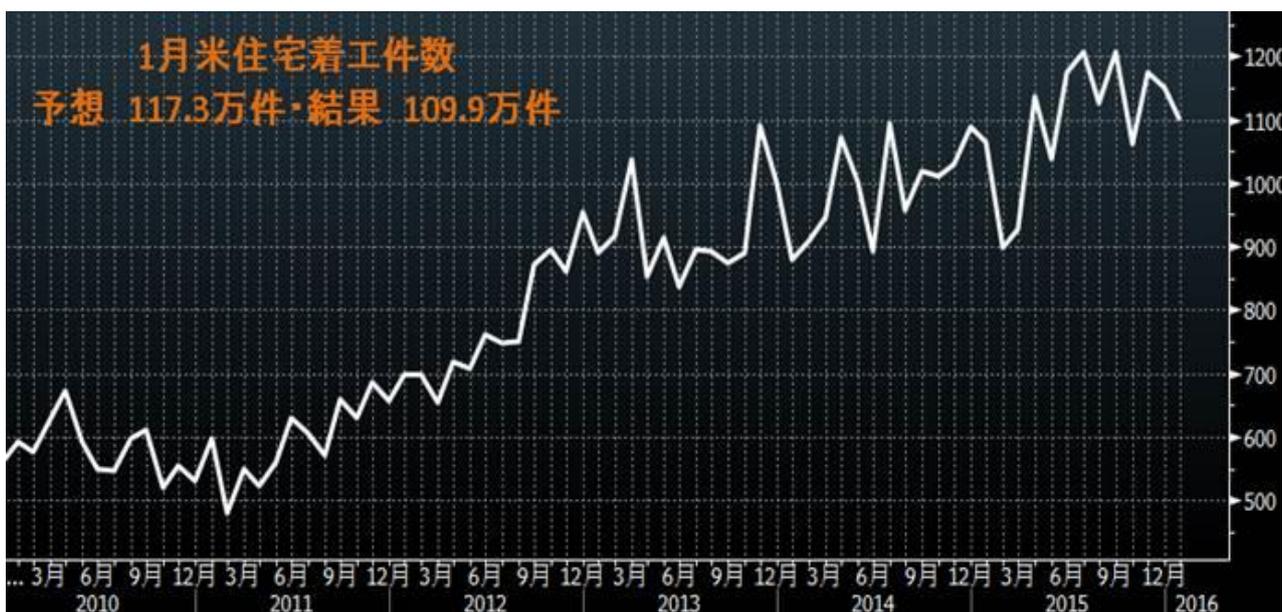
◀ 経済指標の結果 ▶

1月米住宅着工件数 109.9万件 (予想 117.3万件・前回 114.3万件)
 前回発表の114.9万件から114.3万件に修正

1月米住宅着工件数(前月比) -3.8% (予想 2.0%・前回 -2.8%)
 前回発表の-2.5%から-2.8%に修正

1月米建設許可件数 120.2万件 (予想 120.0万件・前回 120.4万件)
 前回発表の123.2万件から120.4万件に修正

1月米建設許可件数(前月比) -0.2% (予想 -0.3%・前回 -6.1%)
 前回発表の-3.9%から-6.1%に修正



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

経済指標データ

◀米住宅着工・許可件数▶

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
住宅着工件数	109.9	114.3	117.6	107.1	120.7	111.6
一戸建て住宅	73.1	76.1	78.6	71.5	74.1	73.4
集合住宅	36.8	38.2	39.0	35.6	46.6	38.2
許可件数	120.2	120.4	128.2	116.1	110.5	116.1
一戸建て住宅	72.0	73.2	72.7	71.5	69.4	69.9
集合住宅	48.2	47.2	55.5	44.6	41.1	46.2

前月比 (%)

住宅着工	-3.8	-2.8	9.8	-11.3	8.2	-3.1
住宅建設許可	-0.2	-6.1	10.4	5.1	-4.8	2.7

22:30

◀ 経済指標の結果 ▶

1月米生産者物価指数 (前月比) 0.1% (予想 -0.2%・前回 -0.2%)

1月米生産者物価指数 (前年比) -0.2% (予想 -0.6%・前回 -1.0%)



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

指標結果データ

《生産者物価指数》

	1月	12月	11月	10月	9月	8月
最終需要	0.1	-0.2	0.4	-0.3	-0.5	-0.2
消費財	-0.7	-0.7	0.1	-0.3	-1.0	-0.5
食料品	1.0	-1.4	0.3	-0.8	-0.3	0.2
エネルギー全体	-5.0	-3.5	0.5	-0.3	-5.3	-2.6
除く食品・エネルギー	0.0	0.1	0.0	-0.3	0.0	-0.2
サービス	0.5	0.1	0.5	-0.4	-0.1	-0.1

22:30

《経済指標の結果》

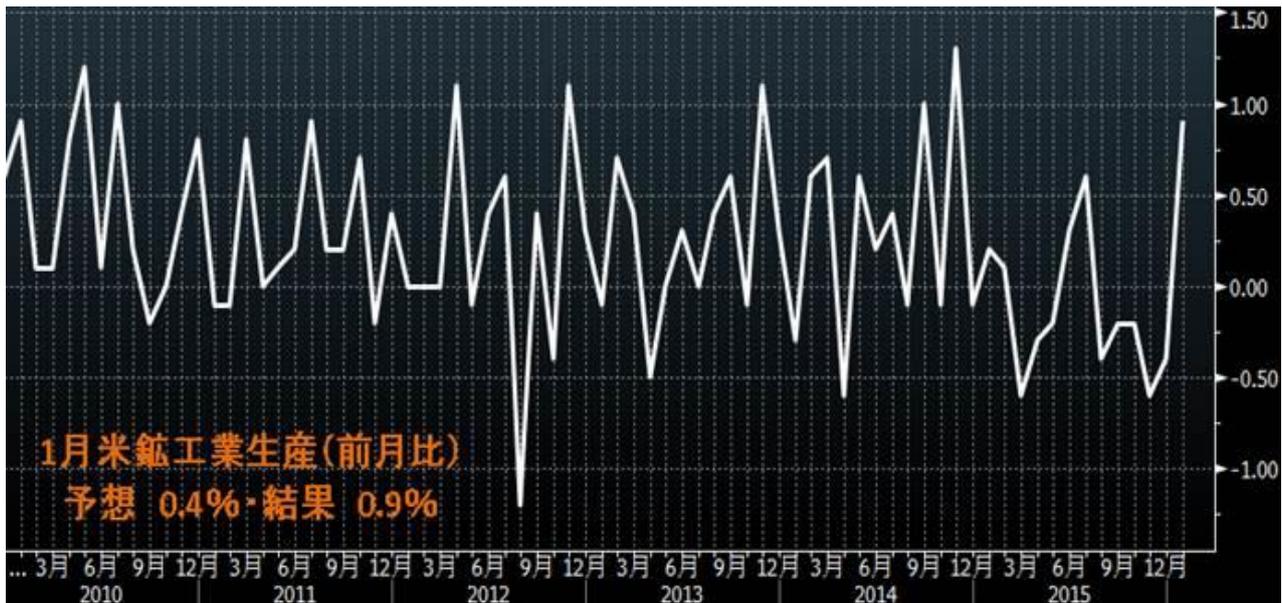
12月カナダ国際証券取扱高 -14.1億CAD (前回 29.4億CAD)
 前回発表の 25.8億CAD から 29.4億CAD

23 : 15

◀ 経済指標の結果 ▶

1月米鉱工業生産（前月比） 0.9%（予想 0.4%・前回 -0.7%）
 前回発表の-0.4%から-0.7%に修正

1月米設備稼働率 77.1%（予想 76.7%・前回 76.4%）
 前回発表の76.5%から76.4%に修正



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

指標結果データ

〈米鉱工業生産・設備稼働率〉

	1月	12月	11月	10月	9月	8月
鉱工業生産	0.9	-0.7	-0.8	-0.1	0.0	0.0
製造業	0.5	-0.2	-0.2	0.3	-0.1	-0.2
鉱業	-0.0	-2.0	-1.4	-1.6	-0.8	0.1
最終財	-1.1	-0.7	-0.8	-0.2	-0.3	0.2
原材料	-0.8	-0.7	0.3	-0.4	-0.8	0.6
設備稼働率	77.1	76.4	77.0	77.7	77.9	77.9
製造業	76.1	75.8	76.0	76.3	76.1	76.2
鉱業	78.8	78.4	80.1	81.5	83.0	83.9

23 : 20

〈 要人発言 〉

カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁

- ・「具体的な利上げのタイミングはない」
- ・「最近のデータは、恐らく下向きの傾向強まる」
- ・「原油価格の行き先は分からない」

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16306.77	+110.36
ナスダック	4480.07	+44.11

(出所: SBILM)

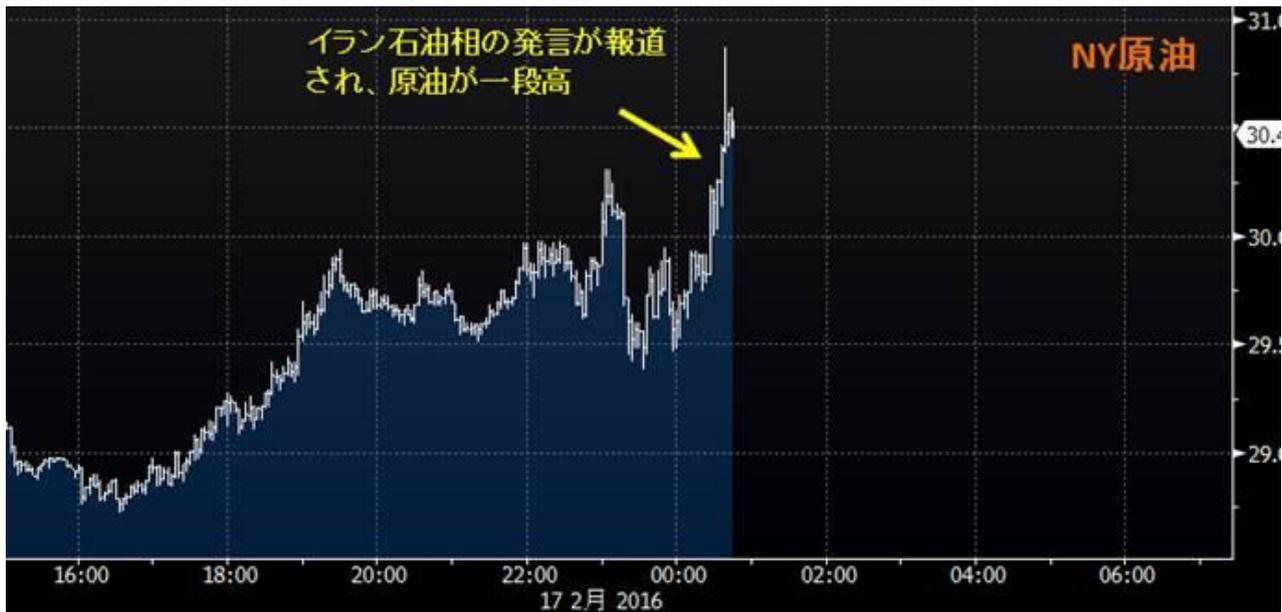
0 : 30

〈 要人発言 〉

ザンギャネ・イラン石油相

- ・「原油相場安定化に向けた措置を支持」
- ・「OPEC加盟国と非加盟国の協力を支持」
- ・「ドーハ協議の生産量維持提案を支持」
- ・「生産量維持の影響を見極める必要がある」

ザンギャネ・イラン石油相は、生産量維持にイランが加わるかは言明せず



(出所：ブルームバーグ)

0 : 35

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、サウジアラビアやロシアなどの有力産油国が増産凍結で合意するなど生産調整に向けた機運が高まっていることを好感し、石油関連をはじめ幅広い銘柄に買いが先行した。また、欧州主要株価が大幅高となったことも材料視され、堅調な動きとなっている。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、前日比 200 ドル高近辺で推移。

◀ 経済指標のポイント ▶

(1) 1月の米住宅着工件数は、年率換算で前月比-3.8%の109.9万件となり、2ヵ月連続のマイナスとなった。件数ベースでは、昨年10月以来3ヵ月ぶりの低水準となった。主力の一戸建て住宅、集合住宅とも減少となり、世界経済の先行き不透明感を背景に金融機関が建設資金の融資基準を厳しくしていることや、米東海岸を襲った大雪などが影響した可能性が考えられる。

①一戸建て住宅が前月比-3.9%の73.1万件、それ以外の集合住宅は-3.7%の36.8万件。

②地域別では、北東部が-3.7%、中西部は-12.8%、南部が-2.9%、西部は-0.4%となった。

③着工件数の先行指標となる建設許可件数は、前月比-0.2%の120.2万件となり、ほぼ市場予想の範囲内の結果となった。前年同月比では+13.5%。

(2) 1月の米生産者物価指数は、モノとサービスを合わせた総合で前月比+0.1%となり、2ヵ月ぶりのプラスとなった。前年同月比では-0.2%。

①ガソリンなどエネルギー価格の値下がり加速し、最終需要財はマイナスだったが、サービス需要のプラスが卸売物価全体を押し上げた。

②全体から変動の激しい食品とエネルギーを除いたベースの総合指数は、前月比+0.4%、前年同月比では+0.6%。食品とエネルギー、貿易サービスを除いたベースでは前月比+0.2%、前年同月比は+0.8%となった。モノは前月比-0.7%、前年同月比では-2.5%だった。

③品目別では、エネルギーが-5.0%、食品は+1.0%、サービスは+0.5%。サービスのうち貿易は+0.9%、輸送・倉庫は+0.4%、サービスは前年同月比では+0.9%となった。

(3) 1月の米鉱工業生産指数は、前月比+0.9%となり、前月のマイナスからプラスに転じた。暖房需要が伸びて電力・ガスが上昇したことで全体を押し上げる結果となった。また、主力の自動車関連を中心とした製造業も好調だった。

①昨年12月の数字は当初発表の-0.4%から-0.7%に下方修正された。生産指数は製造業が+0.5%、電力・ガスは+5.4%、鉱業は横ばいだった。

②製造業のうち、自動車、同部品が+2.8%と3ヵ月ぶりのプラスとなった。一次金属は+2.1%、一般機械は+0.7%。一方、石油・石炭製品は-0.2%。

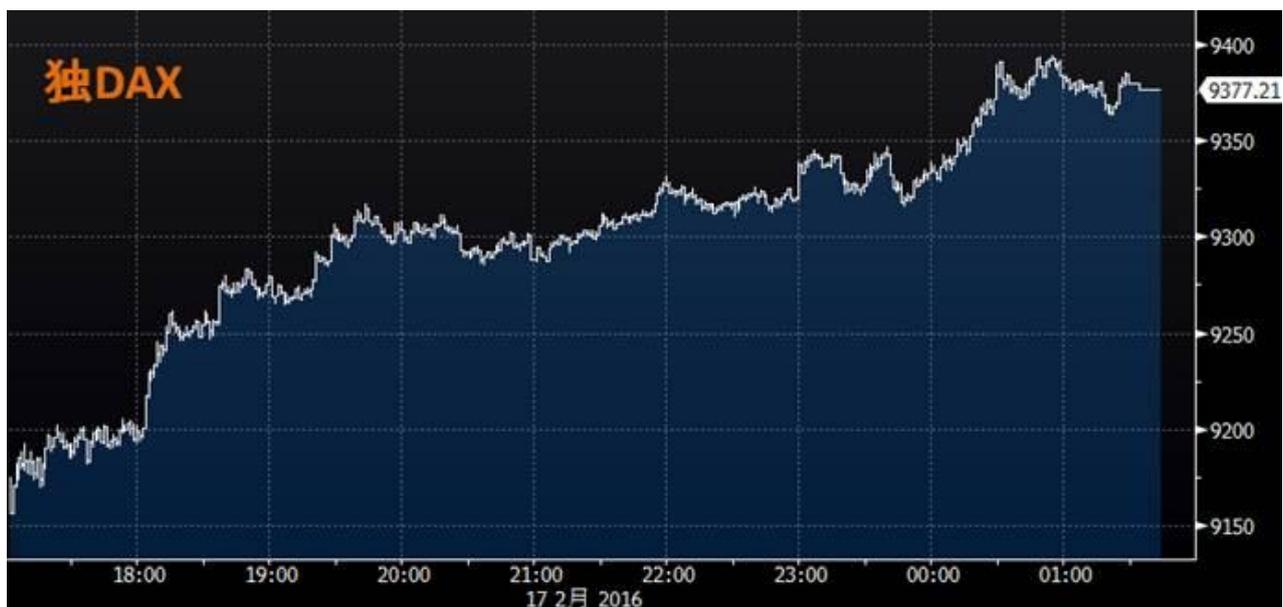
③設備稼働率は、前月比0.7ポイント上昇の77.1%となり、市場予想の76.7%を上回った。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6030.32	+168.15
仏 CAC40	4233.47	+122.81
独 DAX	9377.21	+242.10
ストック欧州 600 指数	328.77	+8.40
ユーロファースト 300 指数	1295.68	+33.61
スペイン IBEX35 指数	8364.90	+227.30
イタリア FTSE MIB 指数	17377.89	+420.05
南ア アフリカ全株指数	50039.31	+652.21

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、有力産油国の生産調整の動きが進むとの期待で原油先物が上昇したことや、欧州企業の業績改善期待を背景に、主要株価は軒並み大幅上昇となった。



(出所: ブルームバーグ)

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 16408.64 (+212.23)、S&P500 1922.77 (+27.19) ナスダック 4512.07 (+76.11)

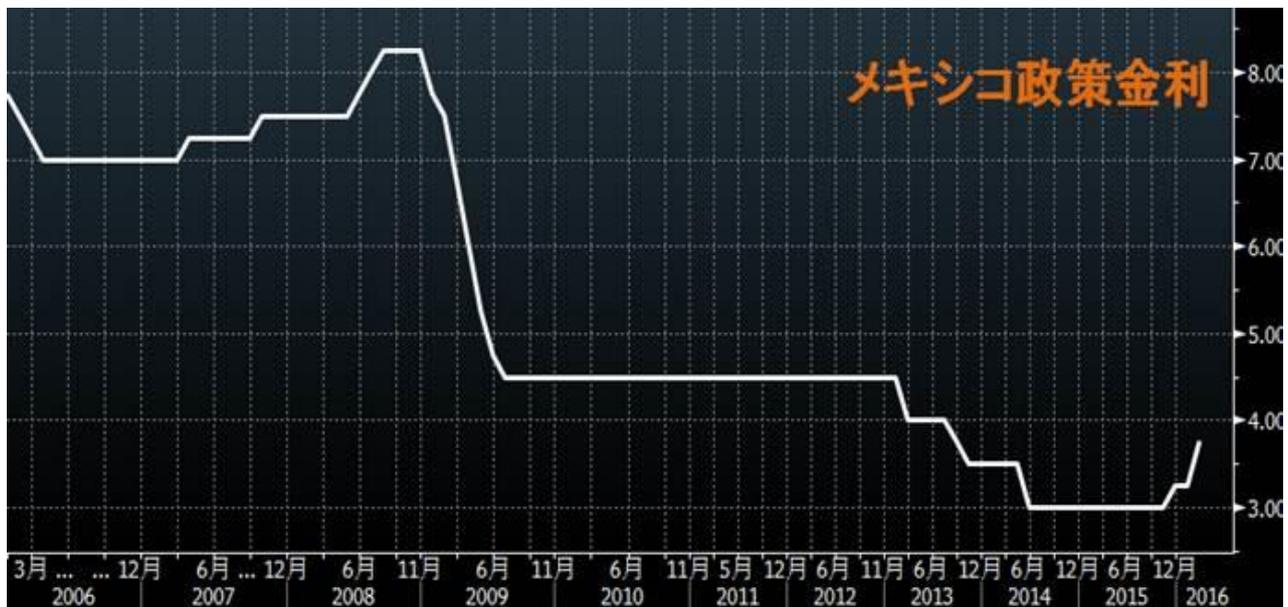
《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、米国株や原油先物の値上がりで投資家のリスク志向が強まり、安全資産とされる米国債を売る動きが先行した。1月の米生産者物価指数や鉱工業生産が市場予想を上回り、景気先行き不安が後退したことも圧迫材料となった。

午前の利回りは、30年債が2.70%（前日2.65%）、10年債が1.84%（1.78%）、7年債が1.59%（1.52%）、5年債が1.28%（1.22%）、3年債が0.95%（0.91%）、2年債が0.76%（0.72%）。

2:15

メキシコ中銀は、翌日物金利を0.50%引き上げた。



(出所：ブルームバーグ)

3:40

ブラジルを「BB」に格下げ、見通しネガティブ～米格付け会社

4:00

1月のFOMC定例会合の議事録を公表

- ・「多くの当局者は下振れリスクが高まったと認識」
- ・「大半の当局者は今年の雇用が堅調と判断、一部は減速を指摘」
- ・「幾人かの当局者はインフレ見通しの不透明感の強まりを指摘」
- ・「幾人かの当局者は中国からの米経済への悪影響を懸念」
- ・「原油・ドル市場が落ち着けば大半の当局者は物価上昇を予想」
- ・「金融状況がタイト化すれば下振れリスクが高まる可能性も」
- ・「原油とドルはさらに長期にわたりインフレを抑制する公算大」

4 : 40

NY 金は、中心限月が前日比 3.20 ドル高の 1 オンス=1211.40 ドルで取引を終了した。

5 : 25

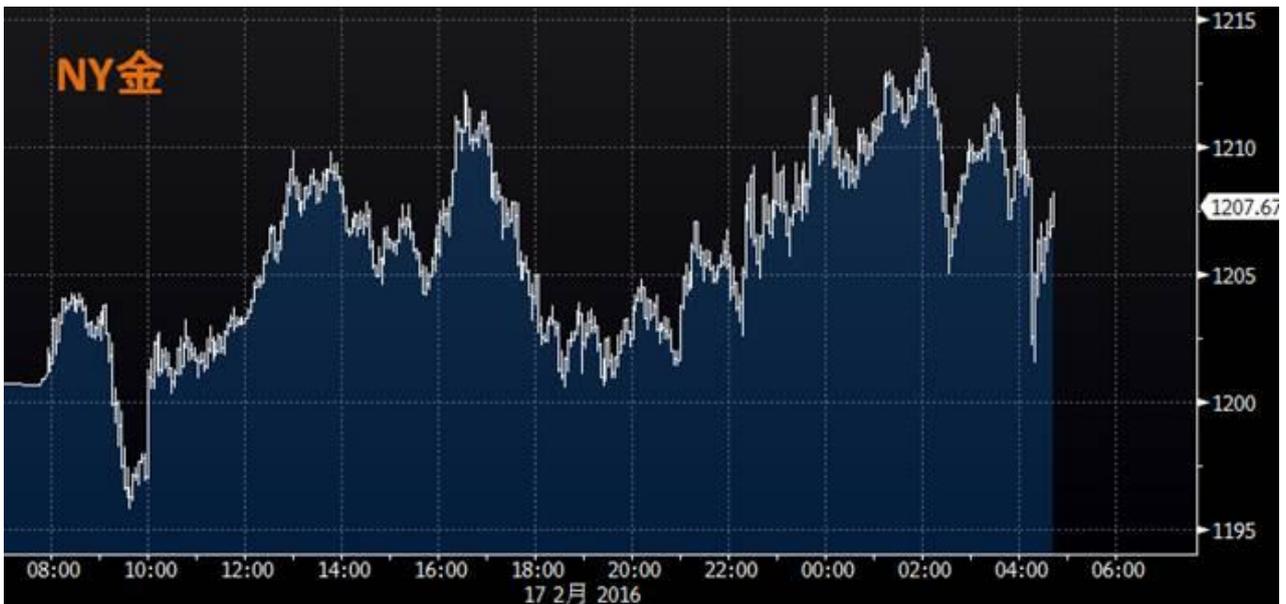
NY 原油は、中心限月が前日比 1.62 ドル高の 1 バレル=30.66 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1211.40	+3.20
NY 原油	30.66	+1.62

(出所: SBILM)

◀ NY 金市場 ▶

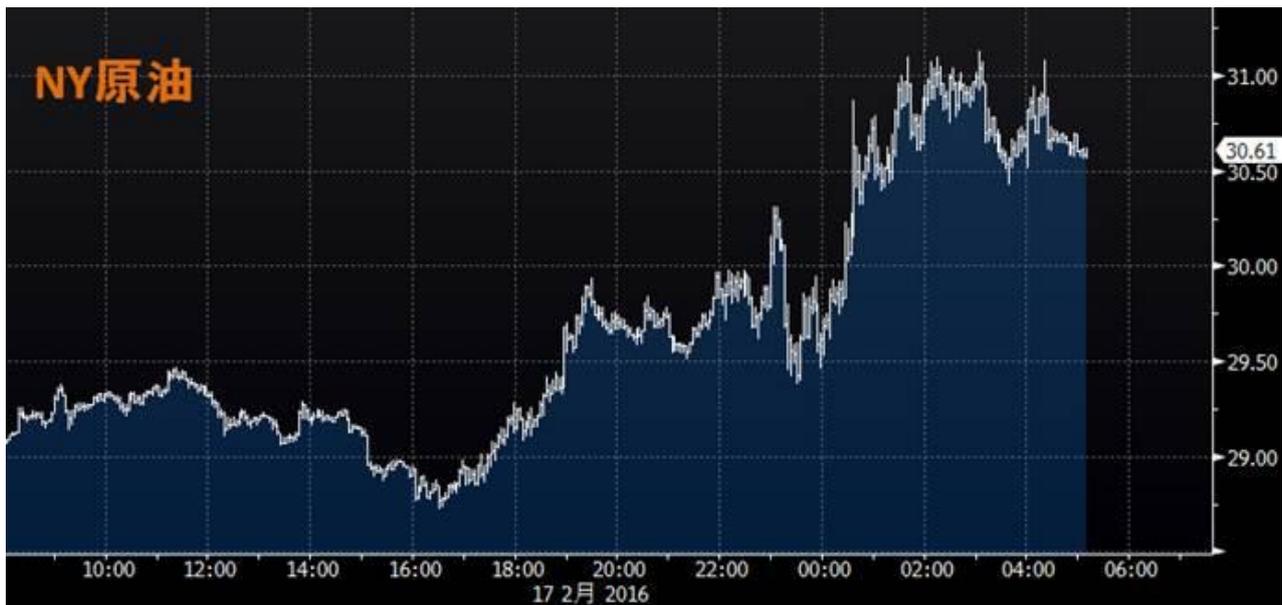
NY 金は、米 FRB による今後の利上げペースは想定より遅くなるとの観測を背景に、買いが先行した。ただ、米国株の大幅上昇で比較的 안전한資産としての需要が減退したことで、上値の重い動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、サウジアラビアとロシアなどが前日に増産凍結で合意したことに加え、イランのザンギャネ石油相が原油価格の回復に向けた行動を支持する姿勢を示したとの報道を受けて、供給過剰の解消に向けた動きが加速するとの期待感から堅調な動きとなった。



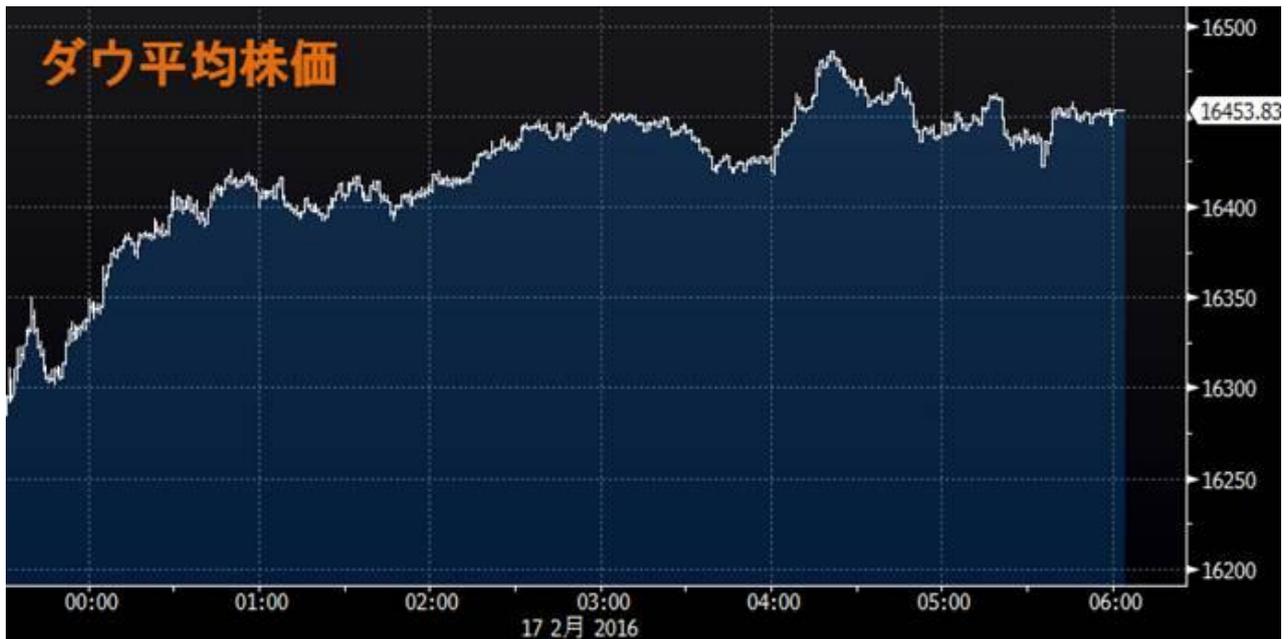
(出所：ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16453.83	+257.42	16486.12	16217.98
S&P500 種	1926.82	+31.24	1930.68	1898.80
ナスダック	4534.07	+98.11	4540.78	4463.51

(出所：SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、サウジアラビアやロシアなどの有力産油国が増産凍結で合意するなど生産調整に向けた機運が高まっていることを好感し、石油関連をはじめ幅広い銘柄を買う動きが先行した。また、欧州主要株価が大幅高となったことも材料視され、主要株価は終盤まで堅調な動きが続いた。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で 289 ドル高まで上昇する場面もあった。



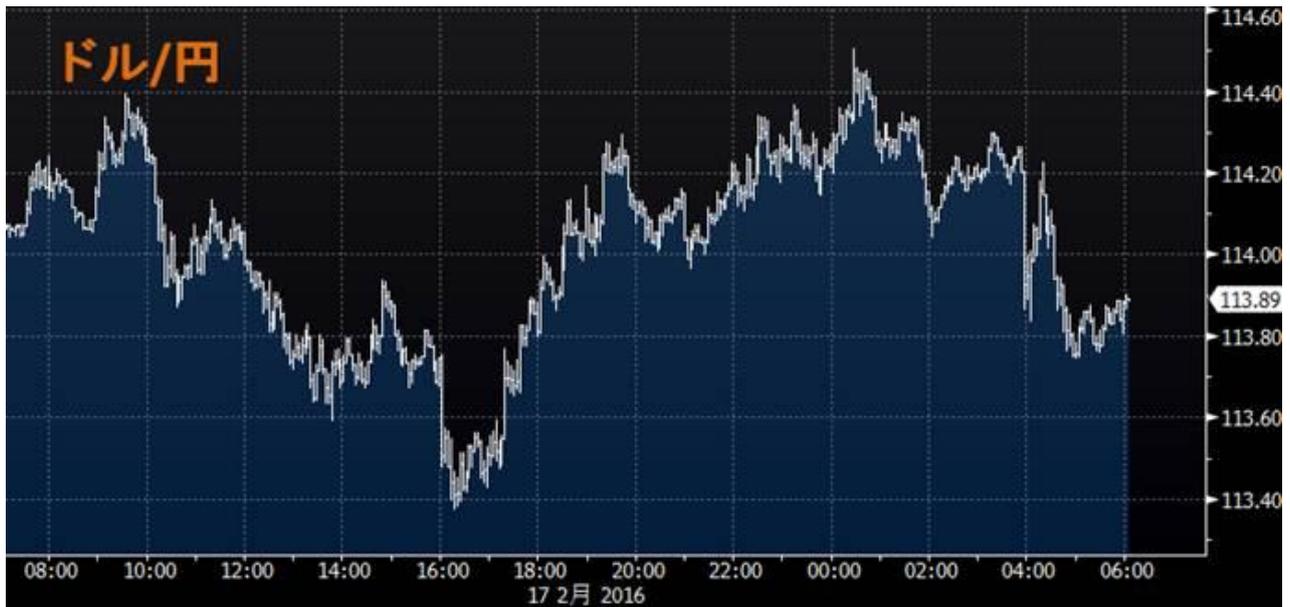
(出所：ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	113.99	114.50	113.76
EUR/JPY	126.81	127.40	126.64
GBP/JPY	162.84	163.90	162.48
AUD/JPY	81.84	82.08	81.21
NZD/JPY	75.58	75.92	75.05
EUR/USD	1.1125	1.1158	1.1107
AUD/USD	0.7180	0.7187	0.7109

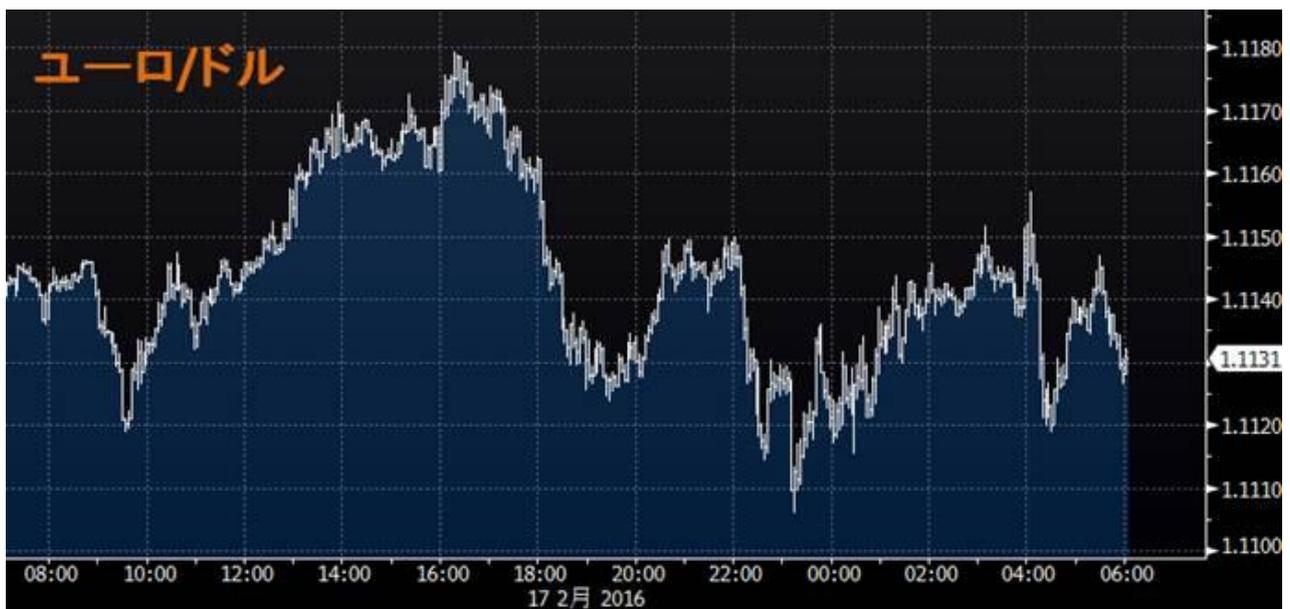
(出所：SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、欧米の株価上昇や原油価格の大幅上昇を受けて、ドル円・クロス円は序盤から堅調な動きとなった。ただ、FOMCの議事録公開を受けて、投資家のリスク回避の動きが強まり、ドル円・クロス円は終盤には一段の下げとなった。



(出所：ブルームバーグ)



(出所：ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。